

スケートボードの聖地「むらかみ」サードプロジェクト



国内唯一のスケートボード競技のナショナルトレーニングセンターとして、子どもたちや若者の競技者としての活躍を支援します。

①スケートボード普及事業（指導料、施設整備費など）

初心者教室からミドルスクール、アスリートクラスまで、全ステージにおいて選手を目指す子どもたちを育成する事業。

②市主催大会の開催および各種大会誘致事業（大会運営費など）

主にスクール生を対象とした市主催大会の開催に加え、国内外の大会を誘致・開催することで、施設利用者の増加および交流人口の拡大に取り組む事業。

③合宿誘致事業（報償費など）

国内外の競技団体などの合宿を誘致し、子どもたちの国際交流機会の創出や、スポーツツーリズムの推進を通じ、交流人口の拡大と地域経済の活性化に取り組む事業。

令和8年度 目標額
1,000万円



スケートボードの聖地を目指して

本市は、東京2020オリンピック競技大会に合わせて「スケートボードの聖地」を目指し、2019年4月に国内最大級の屋内型スケートパークを整備しました。現在、本施設は国内唯一のスケートボード競技ナショナルトレーニングセンター（NTC）競技別強化拠点施設としてスポーツ庁の指定を受けており、これまで日本スケートボード選手権大会をはじめとする主要な大会を誘致・開催しています。また、合宿誘致においても、日本代表チームをはじめ海外のナショナルチームを受け入れており、国内外のトップアスリートを支援してきました。

パリ2024オリンピック競技大会のスケートボード競技に出場した日本代表選手は、スケートボードの精神を体現し、お互いを讀み合いながら果敢に夢の舞台へ挑む姿で、世界中に勇気と感動を与えてくれました。本市は、大会で高まった機運を好機と捉え、スポーツツーリズムを通じた交流人口の拡大と地域経済の活性化によるまちづくりを推進するとともに、これからも世界へ羽ばたく子どもたちの夢を全力で応援してまいります。